

大日本土木株式会社 岐阜本店新社屋

DAI NIPPON CONSTRUCTION GIFU OFFICE

No. 32-001-2015作成
新築
事務所

発注者	大日本土木株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	大日本土木株式会社・株式会社NIPPO DAI NIPPON CONSTRUCTION・NIPPO CORPORATION	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	大日本土木株式会社・株式会社NIPPO	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

創立70周年事業で建替えた大日本土木株式会社岐阜本店新社屋

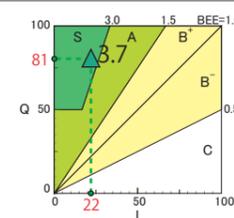


外観南西面（ダブルスキン内の日射追尾ブラインドが上がった状態。南側来客用駐車場にパーフェクトクールを採用）

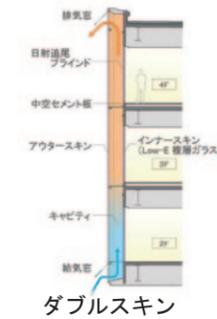
「安全」「社会貢献」「次世代」をコンセプトに、耐震安全性の向上、洪水対策、環境負荷低減、BCP、CASBEE-S ランクの取得などを目標にプロジェクトを推進。CASBEE ではBEE 値 3.7 でS ランクの認証を取得。岐阜県内で初のS ランク認証建物となった。

中小規模オフィスビルでの環境配慮ビルのモデルケースとなるべく様々な技術を取り込んだ。2～4階の南面にはダブルスキンを採用し、キャビティ内に日射追尾ブラインドを設置している。キャビティ内での日射発熱を季節により換気、密閉することにより空調負荷を低減させている。また、当地は地下水が豊富なため、地下水の安定した温度を利用して“地下水利用空調システム”によるアンダーフロア空調を事務室で採用している。BEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）を導入し、デマンド監視によるピークカット、モニタリングによる運用改善により、初期想定値より更なる省エネを目指す。

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	PAL削減 26 %	Sランク
竣工年	ERR (CASBEE準拠) 22 %	BEE=3.7
敷地面積	LCCO ₂ 削減 15 %	2014年度版 第三者認証
延床面積		
構造		
階数		



建設地は旧本店の時に駐車場として利用していた土地で、東側に13本の桜の樹があり、その樹を活かした緑地帯を整備し、遊歩道を設け、建物側には金華山の自生種の植樹をした。北東側の屋上緑化、壁面緑化と合わせて一体的な緑地空間を設けることにより、生物多様性に寄与する場づくりを行っている。その他、タマリユによる駐車場緑化、道路沿いの植樹など周辺環境に配慮した緑化計画も行っている。



桜（13本の保存樹と1本の移植樹）



外観南面（日射追尾ブラインドが閉じた状態）



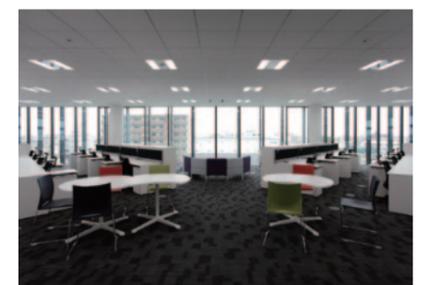
遊歩道（旧本店の石を再利用）



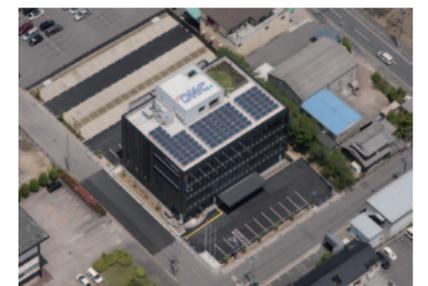
屋上緑化



外観北面（ルーパの両サイドに壁面緑化 手前はグリーンパーキング）



4階事務室（V字型の什器配置）



南西からの航空写真

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出（屋上緑化、壁面緑化、野生小動物の生息域の確保）
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮（既存樹の保存、緑地・遊歩道の整備、歴史的の継承）
- LR1. 2. 自然エネルギー利用（太陽光発電、ライトシェルフ）
- LR1. 3. 設備システムの高効率化（地下水利用空調、ナイトパーズ、オールLED照明、タスクアンビエント照明）
- LR1. 4. 効率的運用（BEMS）
- LR2. 1. 水資源保護（雨水利用、節水型機器）